

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>		日本語概論 Introduction to Japanese Linguistics				担当者所属 職名・氏名		国際高等教育院 教授 パリハワダナ ルチラ			
群	外国語科目群			分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	木2		配当学年	1 回生		対象学生	留学生	
【授業の概要・目的】											
私たちは言語を媒体として言語外の様々な事象を把握する。故に、言語の仕組みや体系に対する理解は、その言語を通した言外の事象の見方・捉え方を知る貴重な手がかりとなる。 この授業では、日本語文の構造的特徴について概観しながら、文法体系によって表し分けられる様々な見方について考察していく。											
【到達目標】											
日本語に対する理解を深めると共に、履修者の母語との対照を通して、日本語の言語事象を分析する関心・能力を養うことを本授業の目標とする。											
【授業計画と内容】											
以下の通りに進めていく予定であるが、履修者の興味や背景に応じて変更する場合もある。 第1回 履修ガイダンス・外界の捉え方——話し手中心の言語としての日本語 第2回 人称表現・タスク 母語との比較 第3回 格助詞の諸問題——補語と述語 第4回 「は」と「が」——主題と主語 第5回 ヴォイス——受け身と使役—— 第6回 授受表現と視点 第7回 複文——条件表現を中心に—— 第8回 言語における時間——テンス・アスペクト—— 第9回 認め方——否定表現を中心に—— 第10回 モダリティ——叙法と伝達 第11回 予見と蓋然性 第12回 必然性と義務 第13回 評価性と若者言葉・タスク 母語との比較 第14回 終助詞と情報構造 第15回 期末試験											
【履修要件】											
日本語・日本文化研修留学生専用科目											
【成績評価の方法・観点】											
以下の通りに評価する。 授業活動への参加度合：30% タスク ：30% 期末試験：40%											
-----日本語概論(2)へ続く↓↓↓-----											

日本語概論(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

工藤浩他 『日本語要説』(ひつじ書房)(1993)

鈴木重幸 『日本語文法形態論』(むぎ書房)(1972)

寺村秀夫 『日本語のシンタクスと意味』(くろしお出版)(1982)

寺村秀夫 『日本語のシンタクスと意味』(くろしお出版)(1984)

寺村秀夫 『日本語のシンタクスと意味』(くろしお出版)(1991)

仁田義雄 『日本語のモダリティと人称』(ひつじ書房)(1991)

日本語記述文法研究会 『現代日本語文法4 モダリティ』(くろしお出版)(2003)

渡辺実 『日本語概説』(岩波書店)(1996)

[授業外学修(予習・復習)等]

テーマ別参考文献を調べること

[その他(オフィスアワー等)]

木曜日4限(14:30~16:15)をオフィスアワーとする。

研究室:旧石油化学教室本館棟105号室

研究室電話番号:075-753-2555

E-mailアドレス: palihawadana.ruchira.8n@kyoto-u.ac.jp